

# 茨城県連国保 ハイキングに参加して

事務局 星 敦司

開催日 平成27年11月14日(土)

開催場所 茨城県笠間市

去る平成27年11月14日(土)に逆井専務理事と茨城県支部連合会主催のハイキングに参加させていただきました。

今回のハイキングは茨城県、笠間市内の散策です。あいにくの雨模様ではありましたが、約80名の参加者が市内駐車場へ集合し、午前10時に関口県連副会長の開会挨拶に始まり、池田県連会長挨拶、鈴木県連国保理事長挨拶、逆井専務理事の挨拶の後、集合写真を参加者全員で撮影をし、最初の目的地である「笠間日動美術館」に見学へ行きました。

この美術館は日動画廊創業者、長谷川仁・林子夫妻により、長谷川家ゆかりの地である笠間に創設された、画商の系列美術館です。個人運営であるにもかかわらず、ルノワール、ゴッホ、モネ等の作品が収蔵され展示がしてあり、画に関して素人である私にも大変興味深く見学させていただきました。また、庭園には彫刻が展示されており、秋の紅葉と一体となつてとても素晴らしかったです。今回は45分ほどの見学で、全てを回りきれずにいたので、また、プライベートでゆっくりと見学してみたいと思います。

そのあと、「笠間日動美術館」から歩いて10分ほどの場所にある「笠間稲荷神社」に向かいました。「笠間稲荷神社」は京都の「伏見稲荷大社」、佐賀県鹿島市の「祐徳稲荷神社」とあわせて三大稲荷神社の一つです。江戸時代に歴代の藩主が厚く崇敬したこともあり、現在の神社になったといわれ、門前を中心に栄えたようです。当日も丁度、菊祭りの開催中であり、七五三の参拝客もおり、大変賑わっていました。江戸当時も同じ様な賑わいだったと想像がつかます。

参拝と菊祭りを見学したあとは、楽しみにしていた昼食の時間です。今回は、大人数ということもあり、2グループに分かれての食事となりました。私は笠間稲荷神社のとなりにある「むぎとろ量深」というお店です。地元の食材に大変こだわりを持っているとのことでしたが、今回の料理は何品もあり、お腹が大変膨らんだところで、鰻のどんぶりとお吸い物がでてきて驚いたのですが、全て完食してしまいました。食事のあと、お店の女将さんとお話をする機会があり、茨城県は常陸秋そばが大変有名ですが、ここ笠間市は栗の生産が日本一と聞き、大変驚きました。最初聞いた時、栗は小布施?と言ってしまったのですが、小布施にも笠間の栗が行っているとのこと。地元の人ならではのお話が聞けました。

散策している間は小雨、時々雨がやんだりしていて、天候は思ったほど悪くはなく、このような天気もまた趣きがあるものだと思います。茨城県の支部国保長の先生方が道案内等をしていただけたおかげもあると思いますが、事故もなく無事に終了しました。池田県連会長をはじめ、県連役員の先生方、茨城県連事務局職員の方々には大変お世話になりました。お礼申し上げます。ありがとうございました。

